



2024年2月13日

各 位

会社名 オーナンバ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 木嶋忠敏  
(コード番号 5816 東証スタンダード市場)  
問合せ先 常務取締役管理部長 宮本敦浩  
(TEL. 06-6976-6101)

## 新中期経営計画「PROGRESS 2026」について

当社は、2024年を初年度として2026年度までの3ヶ年の新中期経営計画「PROGRESS 2026」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 既中期経営計画「PROGRESS 2023」の総括

既計画は2021年度から2023年度までを対象とし、最終年度の売上高380億円、営業利益15億円、営業利益率4.0%を目標としてスタートいたしました。米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染症の影響、原材料価格の高騰、ウクライナ情勢の長期化に伴う原油価格や為替相場の急激な変動等に当社グループの経営環境は厳しい状況が継続しましたが、自動車、産業機器用ワイヤーハーネスの大幅な増販等により2023年度売上高は447億円、営業利益24.7億円、営業利益率5.5%と目標を上回る結果で、ROEも9.1%と目標を達成。この業績に伴い1株当たり配当も41円といたしました。

#### 2. 新中期経営計画「PROGRESS 2026」の全体コンセプト

100周年(2041年)に向けた成長基盤確立に向け、エネルギー新時代に即した「グローバルな総合配線システムメーカー」の実現に向け、成長戦略/生産戦略/経営基盤強化と資本コストを意識した経営を着実に実行し、事業構造の変革を図ってまいります。

また、下記基本戦略実現のため、重点成長分野向けを中心に、前中期計画対比倍増となる総額71億円(前中期経営計画比 35億円増)の設備投資及び研究開発投資を行います。

##### 1) 成長戦略

- ①部門ごとに重点成長戦略を推進
- ②脱炭素社会の実現に貢献する取り組みの更なる強化

##### 2) 生産戦略

- ①国内生産拠点の強化とグローバル生産拠点戦略の実践
- ②「グローバル同一品質」で品質を売りにできる会社を構築

##### 3) 経営基盤強化

- ①グローバルでの情報基盤構築と社内DX推進
- ②グローバル人材の育成

##### 4) 資本コストを意識した経営

- ①事業成長と収益性向上
- ②株主還元強化
- ③IR活動の充実

※詳細につきましては本日開示の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご確認ください。

### 3. 経営指標（目標）

	2023年度	2026年度
売上高（億円）	447	500
営業利益（億円）	24.7	35
営業利益率（%）	5.5	7.0
ROE（%）	9.1	10.0
配当性向	25%	30%以上
1株当たり配当	41円	70円

（注）数値算定的前提：為替レート 1US\$ = 140円

以 上

# 新中期経営計画

【PROGRESS 2026】

2024年2月13日  
オーナンバ株式会社

# PROGRESS 2023総括

	2023年度 中期計画	2023年度 実績
売上高	380億円	447億円
営業利益	15億円	24.7億円
営業利益率	4.0%	5.5%
ROE	6.9%	9.1%
1株当たり配当金	18円	41円

- ・米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染症の影響、原材料価格の高騰、ウクライナ情勢の長期化に伴う原油価格や為替相場の急激な変動等当社グループの経営環境は厳しい状況が継続。
- ・自動車、産業機器用ワイヤーハーネスの大幅な増販等により2023年度売上・営業利益共に目標を上回る実績。ROEも9.1%と目標達成。1株当たり配当は41円とした。

# PROGRESS 2026の位置づけ

**PROGRESS 2026**  
**(2024~2026年)**  
**100年企業に向けた成長基盤確立**

**100年企業**

**PROGRESS**  
**2023**

**100周年 (2041年) に向けた  
長期ビジョンと目標達成する為の  
戦略策定を行う**

**PROGRESS 2023**  
**(2021~2023年)**

**PROGRESS 2026**  
**(2024~2026年)**

**100周年**  
**(2041年)**

# PROGRESS 2026 全体コンセプト

- ◆エネルギー新時代に即した「グローバルな総合配線システムメーカー」の実現に向けて、**成長戦略/生産戦略/経営基盤強化**と**資本コストを意識した経営**を着実に実行し、100年企業の実現に向け、事業構造の変革を図る



# PROGRESS 2026 成長戦略

## 100年企業の実現に向けた事業構造の変革と基盤構築の推進

### 1. 成長戦略

#### (1) 部門毎に重点成長戦略を推進

##### ①ワイヤーハーネス

グローバルパートナーとの連携強化

##### ②電線

高付加価値電線の開発で販売拡大

##### ③新エネルギー

省エネ・再エネ分野にシステムソリューション事業を展開

##### ④ハーネス加工用機械・部品

自動車用EV関連部品の納入拡大

#### (2) 脱炭素社会実現に貢献する取り組みの更なる強化

部門横断的に環境・エネルギー関連分野へ事業を展開  
(V2H、EV関連等)

## 100年企業の実現に向けた事業構造の変革と基盤構築の推進

### 2. 生産戦略

#### (1) 国内生産拠点の強化とグローバル生産拠点戦略の実践

- ・国内生産拠点の拡充

- ・グローバルパートナー向け国内・海外生産拠点連携

#### (2) 「グローバル同一品質」で品質を売りにできる会社を構築

- ・AI技術導入による検査自動化の推進

### 3. 経営基盤強化

#### (1) グローバルでの情報基盤構築と社内DX推進

#### (2) グローバル人材の育成

- ・計画的な幹部人材の育成、ダイバーシティの推進



# PROGRESS 2026 資本コストを意識した経営

## 100年企業の実現に向けた事業構造の変革と基盤構築の推進

### 4. 資本コストを意識した経営

#### (1) 事業成長と収益性向上

- ・新中期計画PROGRESS 2026の確実な実践

- ①設備投資/研究開発費目標（累計） 71億円  
（前中期経営計画比 35億円増）

- ②株主資本コストを上回るROE 10%（2026年度）

#### (2) 株主還元の強化

＜安定的な株主還元方針を積極的な株主還元に変更＞

- ・段階的な配当性向の引上げ

- 配当性向目標（2026年度） 30%以上

- ・状況に応じて自己株式の取得も検討

#### (3) IR活動の充実

- ・株主、投資家とのコミュニケーション機会の充実

- ・当社ウェブサイトでの非財務情報の発信

（サステナビリティ等）

# 設備投資/研究開発費目標

□ 設備投資累計 : 51億円  
(前中期経営計画比 27億円増)

【戦略投資】 : 31億円

<主な内訳>

①電線新工場 : 11億円

②自動化、生産性向上 : 10億円

③EV用部品生産設備 : 5億円

④DX推進関連 : 5億円

【通常投資】 : 20億円

□ 研究開発費累計 : 20億円  
(前中期経営計画比 8億円増)

# PROGRESS 2026の目標値

	2023年度 実績		2026年度 目標
売上高	447億円		500億円
営業利益	24.7億円		35億円
営業利益率	5.5%		7.0%
ROE	9.1%		10.0%
配当性向	25%		30%以上
1株当たり配当金	41円		70円

注) 為替レート：1US\$=140円